

一関地方森林組合室根婦人部はなみずきの会が最優秀賞を受賞！

1 書面開催による林業グループコンクール

全国林業研究グループ連絡協議会等主催の「東北・北海道ブロック令和2年度林業グループコンクール」が書面開催され、一関地方森林組合室根婦人部はなみずきの会（以下、「はなみずきの会」）が岩手県代表として、参加しました。

令和2年9月1日に福島県いわき市で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面開催となったものです。

一関農林振興センターでは、はなみずきの会の発表を支援しました。

2 発表内容及び結果

「桜の葉・花を活用した商品開発の取組～グループ活動と地域の活性化を目指して～」と題して、県の「幸せ創る女性農林漁業者育成事業」を活用して平成30年度から取り組んでいる活動について発表しました。

まず、昨年度までに取り組んだオオシマザクラの植栽・栽培管理、桜葉生産地の視察研修、桜の葉と花の塩漬けの試作、桜葉料理の試作会の実施状況と成果を紹介しました。

次に、今年度の春に取り組んだオオシマザクラの獣害対策、一番の成果である「桜葉まんじゅう」の開発と販売について説明し、最後に今後の展開について述べました。

審査員の講評では、「桜」に着目し、植栽から剪定、獣害対策まで含め、女性ならではの視点から葉・花という身近な資源を活用した商品開発に一貫して取り組んでいる点が高く評価され、「最優秀賞」を受賞しました。

書面開催のため表彰式は行われず、令和2年11月12日に、林業技術センターの高橋首席林業普及指導員から、はなみずきの会の千葉会長に賞状が伝達されました。

審査員から直接質問やアドバイスを受けたり、他のグループと交流したりする機会がないのは残念でしたが、5度目の挑戦での最優秀賞受賞に、会の皆さんの喜びはひとしおでした。

3 今後の展開

令和3年3月4日にリモート開催される全国林業グループコンクールでの発表に向けて、林業技術センターと協力して準備を進めます。

また、オオシマザクラの栽培管理の継続や規模拡大、桜葉まんじゅうに続く新商品の開発等、引き続き、はなみずきの会の取組を支援していきます。

※はなみずきの会の取組の詳細については、「林業新知識2020年12月号」をご覧ください。



上：賞状伝達
左：桜葉まんじゅう